

# アルファガーデン 11月の見どころ

※その年の気候により開花時期はずれることがあります

紅葉が進む季節です。淡路島は暖かいのであまり紅葉は見事ではありませんが、当校の四季の庭のモミジの紅葉は左の写真(地図①)のようになります。  
 この他、学内では、下の写真左から、サルスベリ、オウゴンカシワ、カシワバアジサイなどの葉が色づきます。



【花木類(花や実を觀賞する樹木)】 秋も深まり実がついてきています。



②ピラカンサ  
トキワサンザシ、タチバナモドキなどを総称してピラカンサという。赤、橙、黄などの実が美しい。



③モッコク  
常緑中木。庭木によく使われる。



④ガマズミ  
全国に分布する落葉低木。実は食べられる。



⑤カマツカ  
木質が堅いため鎌をはじめ農具の柄に使われた。



⑥ハクサンボク  
ガマズミ属の常緑小高木。西日本に多い。



⑦ナンテン  
難を転じるという縁起物で、庭木によく植えられる。



⑧キャラボク  
イチイの変種。雌雄異株なので雌株にしか実はつかない。



⑨ヒイラギモチ  
クリスマス飾りによく使われる。中国原産。



⑩クロガネモチ  
日本の中部以南～インドシナまで分布。



⑪カリン  
香りのよい実は生食はできないが果実酒などに最適。



⑫ザクロ  
西南アジア、中東原産で、最も古くから栽培された果樹の一つ。



⑬コーストバンクシア  
オーストラリア固有種の樹木。乾燥に強い。



⑭ヒイラギ(斑入り)  
モクセイの仲間、花に芳香がある。



⑮ナワシログミ  
垣根などに使われる常緑低木。花には甘い香りがある。

## 【草花類】

◆日本に自生のある野生菊 (当校では植栽しています)



⑯ノジギク  
兵庫県の県花。瀬戸内海に近いエリアに自生するが、変異が多い。



⑰イソギク  
千葉～静岡の太平洋側海岸に自生。日本固有種。黄色の筒状花のみ。舌状花のあるものをハナイソギクという。



⑱ハマギク  
青森から茨城の太平洋側海岸付近に自生する。日本の固有種。



⑲ノコンギク (淡路産)  
田畑の畔に多い野菊。

◆秋を彩るサルビア類 < ⑳のエリア >



サルビア・レウカンサ 4種

サルビア・レウカンサはメキシコ原産の大型宿根草。左から萼片も花も赤紫の‘ミッドナイト’、葉に斑が入った品種、原種に近い萼片が赤紫に花が白い品種、萼片が白で花がピンクの‘ピンクアメジスト’。

サルビア  
‘ビッグブルー’

ファリナセア系の園芸品種。



サルビア・エレガンス(パイナップルセージ)  
葉をもむとパイナップルの香りがする。右写真は葉が黄色の‘ゴールデンデリシャス’。

サルビア  
‘アンソニーパーカー’  
エレガンスとレウカンサの自然交雑品種。

コバルトセージ  
葉が糸のように細い。コバルトブルーの色が特に秋は美しい。

サルビア・インボルクラタ  
(ローズリーフセージ)  
夏ごろから咲き、花序の頂部の苞が球体になる。



サルビア・アズレア  
アズレアは空色の意味。草姿は暴れるが、切り戻しなどで調整できる。

サルビア・ガラニチカ  
初夏～秋まで長く咲く。南米原産。地下部に球根を形成し、耐寒性も強い。

サルビア・コクシネア  
一年草として扱われるが、暖かい淡路では宿根する場合もある。左から‘レディインレッド’、‘コーラルニフ’、‘ホワイトニフ’。

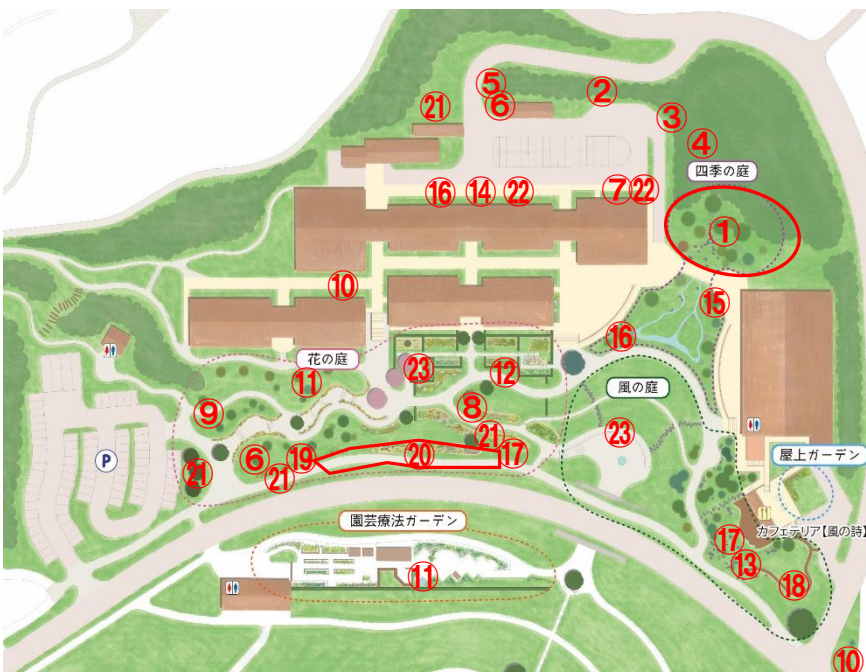
◆その他の草花類



㉑ シュウメイギク  
古い時代に中国から渡来した。別名キブネギクと呼ばれる赤花の八重を指す名だが、現在は数種類の交配されたものの総称。多品種ある。キクの仲間ではなく、キンポウゲ科アネモネ属。



㉒ ホトトギス  
当校に植栽されているものは日本産のものでなくタイワンホトトギス系の園芸品種。花の斑点が鳥のホトトギスの胸の模様に見えることが名の由来。



㉓ ミセバヤ  
美しく、多肉性で丈夫で、古くから園芸栽培され、全国に逸出して見られるが、自生種ははっきりしていない。同属のヒダカミセバヤやアポイミセバヤ、エゾミセバヤなどあり、山野草として栽培される。